



さいたま新都心に一番近い学校

下落合小だより

令和7年3月号
令和7年2月28日
さいたま市立下落合小学校
電話 852-2280
FAX 852-0188
E-Mail

学校教育目標 よく考える子 思いやりのある子 明るく元気な子

shimoochiai-e@saitama-city.ed.jp

校長先生のお仕事は？

校長 小田切 倫子

寒波の到来で寒い日が続いた2月でしたが、ここ数日は暖かい日が続き、この土日は一段と気温が上がるようです。しかしながら、週明けにはまたぐっと気温が下がり、天気予報にはなんと雪マークも！三寒四温は、春の訪れの証です。体調管理に気を付け、元気いっぱい年度末のゴールを迎えることができるようにしたいですね。

先日、1年生数名が、国語の学習で校長室にインタビューに来ました。1学期の学校探検の時にはあいさつもたどたどしかった1年生が、「失礼します。校長先生に、インタビューに来ました。今、お時間よろしいですか？」と堂々と述べ、しっかりとインタビューをする姿を見て、とても感激しました。子どもの成長は、本当に素晴らしいものです。インタビューを受けることは大変うれしいのですが、実は、いつも困ることが起こるのです。それは何かというと、「校長先生は、どんなお仕事をしているのですか？」という質問に、どう答えるかということです。私は、授業で直接勉強を教えるわけではありませんので、校長先生とは、一体どんなお仕事をやる人なのだろうということは、ごく自然に沸き起こる疑問でしょう。校長の仕事として、よく「学校経営」という言葉が使われます。この「学校経営」を1年生にかみ砕いて説明するのは、とても難しいのです。子ども達には、「下落合小学校のみんなが楽しく勉強できるように考えて進めたり、大事なことを決めたりするお仕事だよ。」などと答えるのですが、やはりピンとこない様子。いつも、『上手に答えられなくてごめんね…』と思いながら、インタビューを終えた子ども達を見送るのです。中々しっくりくる答えが見出せていないのですが、この「楽しく勉強」という言葉は、私なりにはずいぶん考えた末の回答です。ここで言う「楽しく」は、面白おかしいといった表面的な“楽しさ”ではありません。知的好奇心を揺り動かし、時には試行錯誤を繰り返しながら困難を乗り越え、努力したからこそ得ることができる、そのような“楽しさ”を意味します。教育は、いつの時代も変わらず大切な『不易』と、時代の流れに応じて変化させる『流行』、そのどちらも心に留めて施すことが肝要です。また、ここで言う「勉強」は、教科の学習だけを指すものではありません。学校は小さな社会です。様々な価値観をもった人とのかかわりを通して、お互いを尊重しながらたくましく生きる力を育むことを意味します。この理念を具現化し、全教職員のベクトルを束ね、推進していくことが「学校経営」なのだと考えています。言葉による説明として1年生に理解してもらうことは難しいのですが、「勉強が楽しい」と心で感じてくれることをもって質問への回答と受け止めてもらえたらいいな…、そんな気持ちです。

まもなく令和6年度が終わろうとしています。「学校経営」に際しましては、保護者や地域の皆様の御理解と御協力に、心より感謝申し上げます。入院により病休をいただいたり、その後の治療により思うように動けなかったりと、自身としては心残りな部分もたくさんあるのですが、そのような経験があったからこそ気付くことができた大切なこともあったと振り返ります。また、そのような状況であったからこそ皆さまのあたたかな御支援をいつも身近に感じながら過ごしてまいりました。本当に、本当に、ありがとうございました。